

大野城市
コミュニティ活動応援ファンド事業
令和4年度 実施報告会
報告書

パートナーシップ活動支援センター

(運営：NPO法人共働のまち大野城)

共催：大野城市

実施概要・実施実績

実施概要

- 名称 大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業令和4年度実施報告会
- 開催日時 令和5年6月17日(土) 10:00~12:10
- 開催場所 大野城まどかぴあ 2階 小ホール
- 実施内容
 - 第1部 事業報告会 【発表団体】
 1. 「心をひとつにきれいな街づくり」 ONOJOにやっとわーく
 2. 「宇宙の学校®~つなぐ、子どもの夢と未来を」 スペースドリーム大野城
 3. 「おおのじょうまどかの醸成事業」 おおのじょう おとなりシップ
 4. 「子育てで少し悩まれている保護者のサポート支援事業」 おやのかいMIRAI
 5. 「安全なまち大野城」 NPO法人route
 6. 「ママ友サポート&子育て応援事業」 スマイルフレンズ
 - 第2部 トークイベント ~大野城市の地域活動の今までとこれからを語り合う~
 - ファシリテーター：福岡市NPO・ボランティアセンターあすみん
センター長 中村善輝様
 - トークゲスト：◆有限会社クリーンみかさ リサイクル事業部 部長 中村博志 様
収集運搬業務部 主任 本村龍一郎 様
 - ◆認定NPO法人チャイルドケアセンター 代表理事 大谷清美 様
 - ◆学生ボランティア団体Young Free Helper 井上 圭悟 様
堀之内 睦 様
 - ◆大野城市人事マネジメント課 人材育成担当係長 徳永 雄介 様
(前コミュニティ文化課 共働推進担当)
 - まちづくり相談会 (小ホール入口付近にて)

実施概要・実施実績

実施実績

- 来場者数 59 名
- 相談会 相談件数 1 件



会場概要

会場（全体）

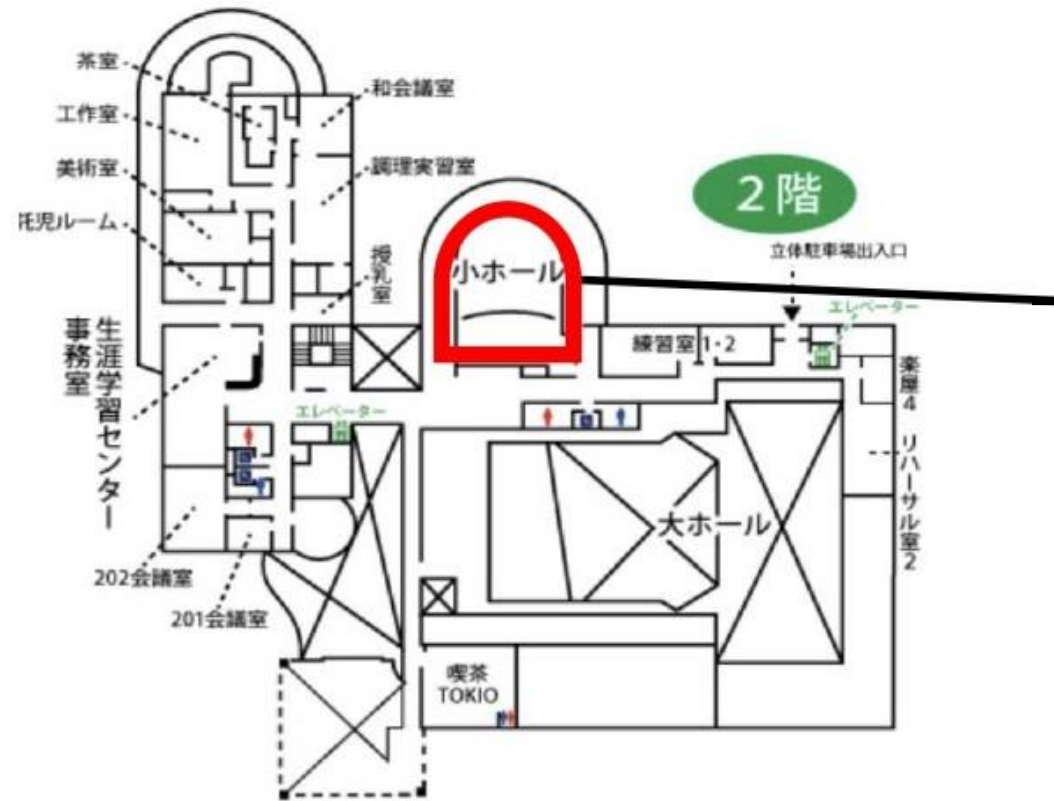
- 会場名 大野城まどかぴあ
- 住所 大野城市曙町2-3-1
- アクセス 西鉄春日原駅より徒歩約10分
JR大野城駅東口よりコミュニティバス約10分「まどかぴあ」下車すぐ
高速九州自動車道 太宰府I.Cから約1.5km
福岡都市高速 大野城出入口から約2.0km

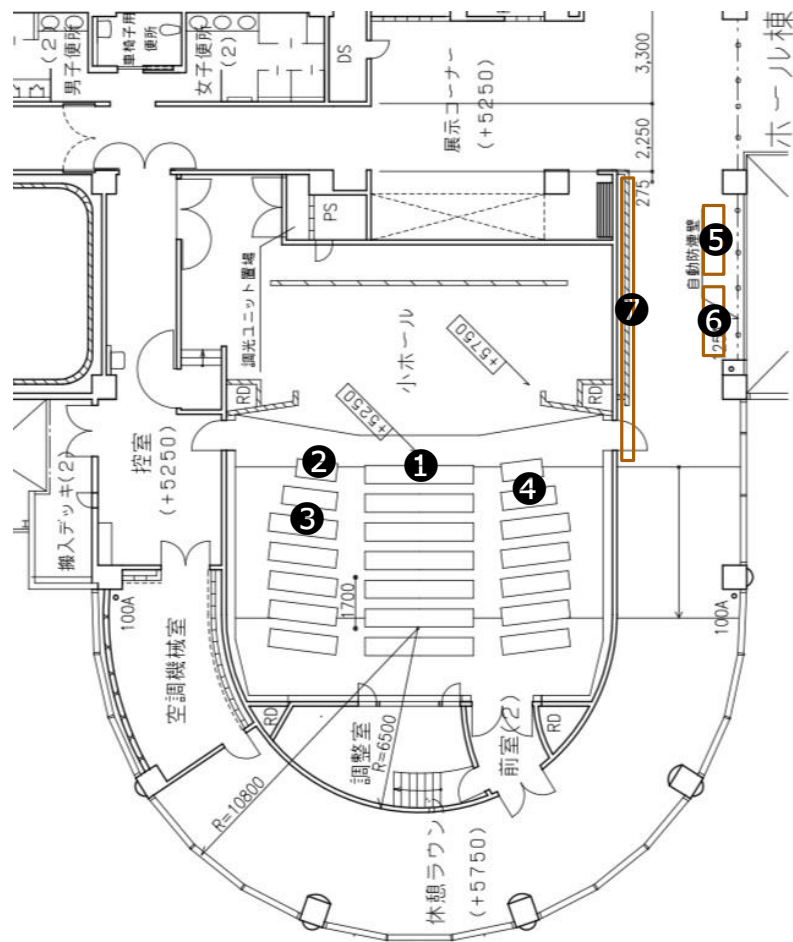


会場概要

会場（詳細）

■会場 2階 小ホール





- ①市長席
- ②理事長席
- ③報告発表団体席
- ④トークゲスト席
- ⑤受付
- ⑥相談会ブース
- ⑦団体ポスター掲示



タイムスケジュール

当日プログラム

10 : 00 開会挨拶

ファンド事業の説明

10 : 10 第1部 事業報告会

1. 「心をひとつにきれいな街づくり」
ONOTOにやっとわーく

2. 「宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を」
スペースドリーム大野城

3. 「おおのじょうまどかの醸成事業」
おおのじょう おとなりシップ

4. 「子育てで少し悩まれている保護者のサポート支援事業」
おやのかいMIRAI

5. 「安全なまち大野城」
NPO法人route

6. 「ママ友サポート&子育て応援事業」
スマイルフレンズ

11 : 00 交流タイム・休憩

11 : 10 第2部 トークイベント ～大野城市の地域活動の今までとこれからを語り合う～

12 : 00 閉会挨拶

市長挨拶

■大野城市 市長 井本 宗司 様



理事長挨拶

■NPO法人共働のまち大野城 穴井 芳春



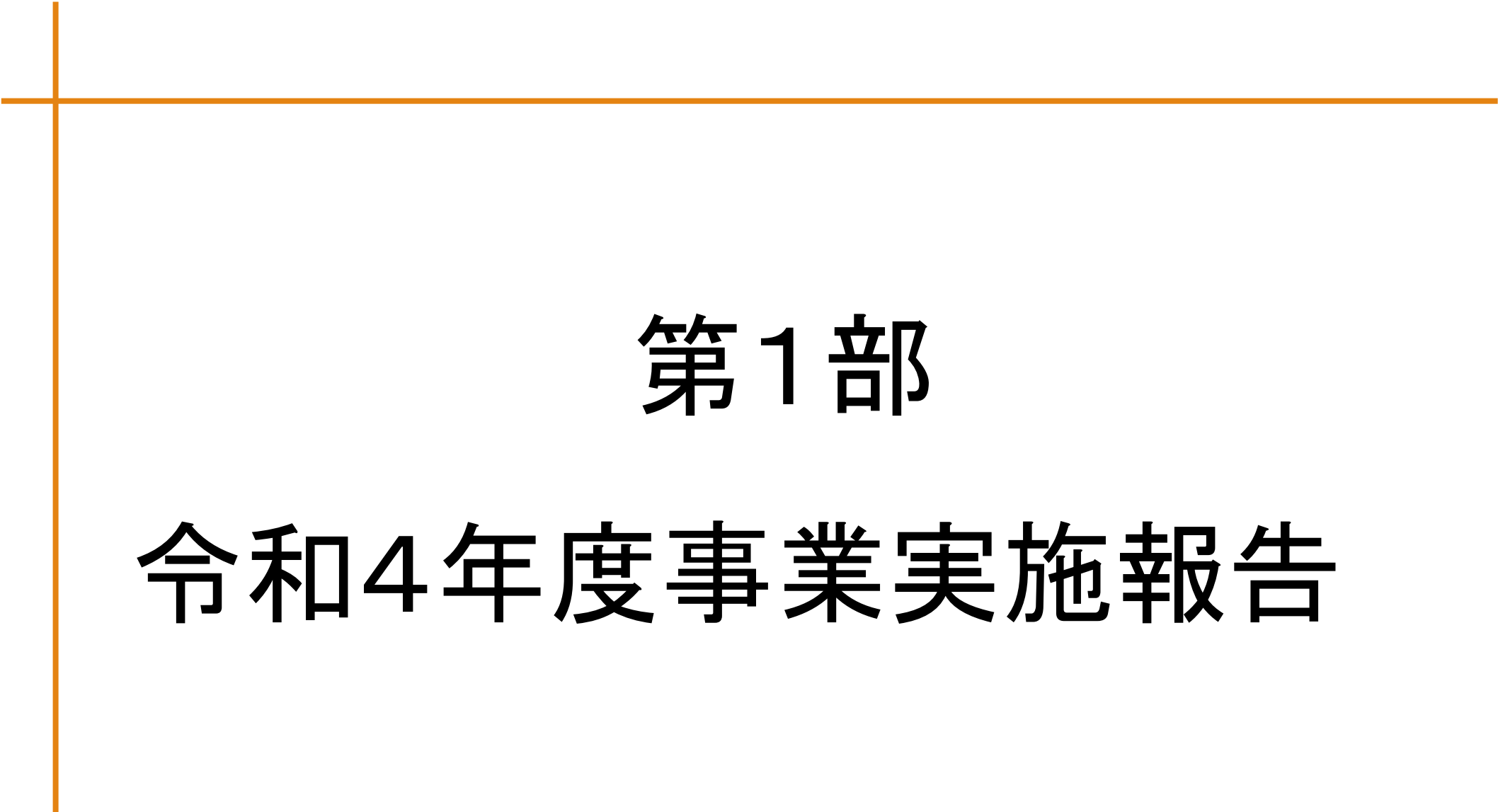
事業説明

動画にて事業説明（４分27秒）を行った。



ファンド事業とは？

「地域のためになる活動」や「地域課題解決のための事業」を主体的に実施する市民団体などに対して、事業経費の一部を予算の範囲内で助成する制度です。関係機関・団体との調整や活動に関するアドバイスなど側面的支援も行っています。

An orange L-shaped line is positioned in the top-left corner of the slide. It consists of a vertical line segment and a horizontal line segment that meet at a right angle.

第1部

令和4年度事業実施報告

A solid orange horizontal bar spans the entire width of the slide at the bottom.

第1部 令和4年度事業実施報告

1

事業名：心をひとつにきれいな街づくり
団体名：ONONOにゃっとわーく

事業期間：2022.4.1～2023.3.31
総事業費(円)：437,556円
助成確定額(円)：200,000円
当事業利用：3年目

大野城市で虐待を受けたり捨てられた子猫を保護し、里親活動を行っている。SNSを活用し、広く周知活動を行うことで、賛同者からの寄付も増え、命にやさしい大野城を目指している。3年間のファンド事業活用により、100匹以上の猫の命を救うことができた。今後は、他の猫団体と情報共有し、大野城市の猫殺処分ゼロを目指し活動を継続していく。

活動紹介



チャリティーイベントの開催



2

事業名：宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を
団体名：スペースドリーム大野城

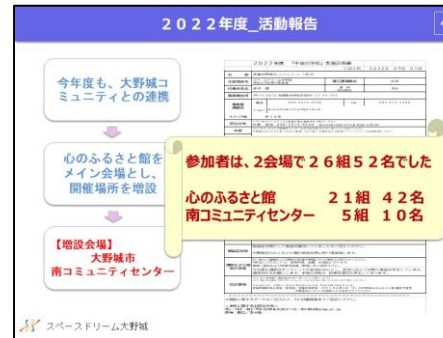
事業期間：2022.4.1～2023.3.31
総事業費(円)：254,177円
助成確定額(円)：228,757円
当事業利用：2年目

子供達に夢を持つことの大切さを伝え育むために、宇宙を題材にした教材を使い、大野城市内で親子参加型のスクーリングを開催している。また、担い手となる運営スタッフを募集・育成する指導者セミナーも随時開催している。令和4年度は3回のスクーリングを実施し、26組52名（心のふるさと館21組42名、南コミュニティセンター5組10名）の参加があった。

過去の活動の様子



2022年度_活動報告



第1部 令和4年度事業実施報告

3

事業名：おおのじょうまどかの醸成事業
団体名：おおのじょうおとなりシップ

事業期間：2022.4.1～2023.3.31
総事業費(円)：204,202円
助成確定額(円)：183,781円
当事業利用：1年目

こども食堂やフードパントリーなどのイベントを通して、子どもたちが孤立しない地域をつくるための活動を行っている。地域の大人が子どもたちと関わることで、大人も子どもも心地よい関係を育みながら、おとなりシップが広がることを目的としている。令和4年度は、IKEA・一風堂とコラボしたこども食堂や夏休みイベント、まどかマルシェ出店等を通じ、子どもたちの居場所づくりを行った。



IKEAこども食堂
大野城市御可公園にて
IKEA福岡新宮店様と250食のホットドッグを
こどもたちに振替ってくれました。



こどもの日
スタッフの協力でこども食堂を開催
約40名にカレーとデザートを提供しました。
子供服のお祭り会も同時に開催



夏休みのプール遊び
スタッフの協力で
小さなお子様向けの小さなイベント



まどかマルシェ出店
駄菓子屋として出店させていただきました。
価格を抑えて販売し、たくさんのおもちゃ
に喜んでいただきました。

4

事業名：子育てで少し悩まれている保護者のサポート支援事業
団体名：おやのかいMIRAI

事業期間：2022.4.1～2023.3.31
総事業費(円)：226,482円
助成確定額(円)：200,000円
当事業利用：1年目

発達障がいを持った子ども及び不登校児やその保護者の方に対して、SST療育やペアレントトレーニングなどを行っている。また、悩み相談や情報共有できる場を提供することで、孤独感をなくし悩みを軽減することを目的として活動している。昨年度は、さまざまな交流会の開催やイベント参加によって、活動への理解者・協力者が増えた。引き続き各所に協賛や協力を求めるとともに、トレーニングが実施できる人材の育成にも力を入れていく。



6月 立花高等学校 齋藤校長先生をお招きして 講話会開催



10月 シャッターアート参加

第1部 令和4年度事業実施報告

5

事業名：安全なまち大野城

団体名：NPO法人route

事業期間：2022.4.1～2023.3.31

総事業費(円)：357,033円

助成確定額(円)：278,265円

当事業利用：1年目

地域の交通安全について、地域団体と連携し啓発活動や見守り活動を行っている。活動を通して安全対策について関心を集めることで、事故のない子供たちが安心して歩けるまちづくりを目的としている。市内の通学路の調査・見守りのほか、イベント出店を行い団体の周知・啓発につとめた。引き続き交通見守りメンバーを募集し、安全なまちづくりを目指す。



6

事業名：ママ友サポート&子育て応援事業

団体名：スマイルフレンズ

事業期間：2022.8.1～2023.3.31

総事業費(円)：101,000円

助成確定額(円)：90,000円

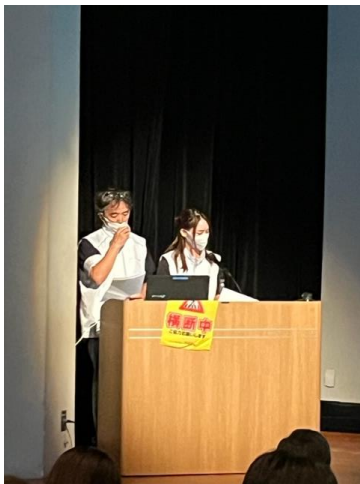
当事業利用：1年目

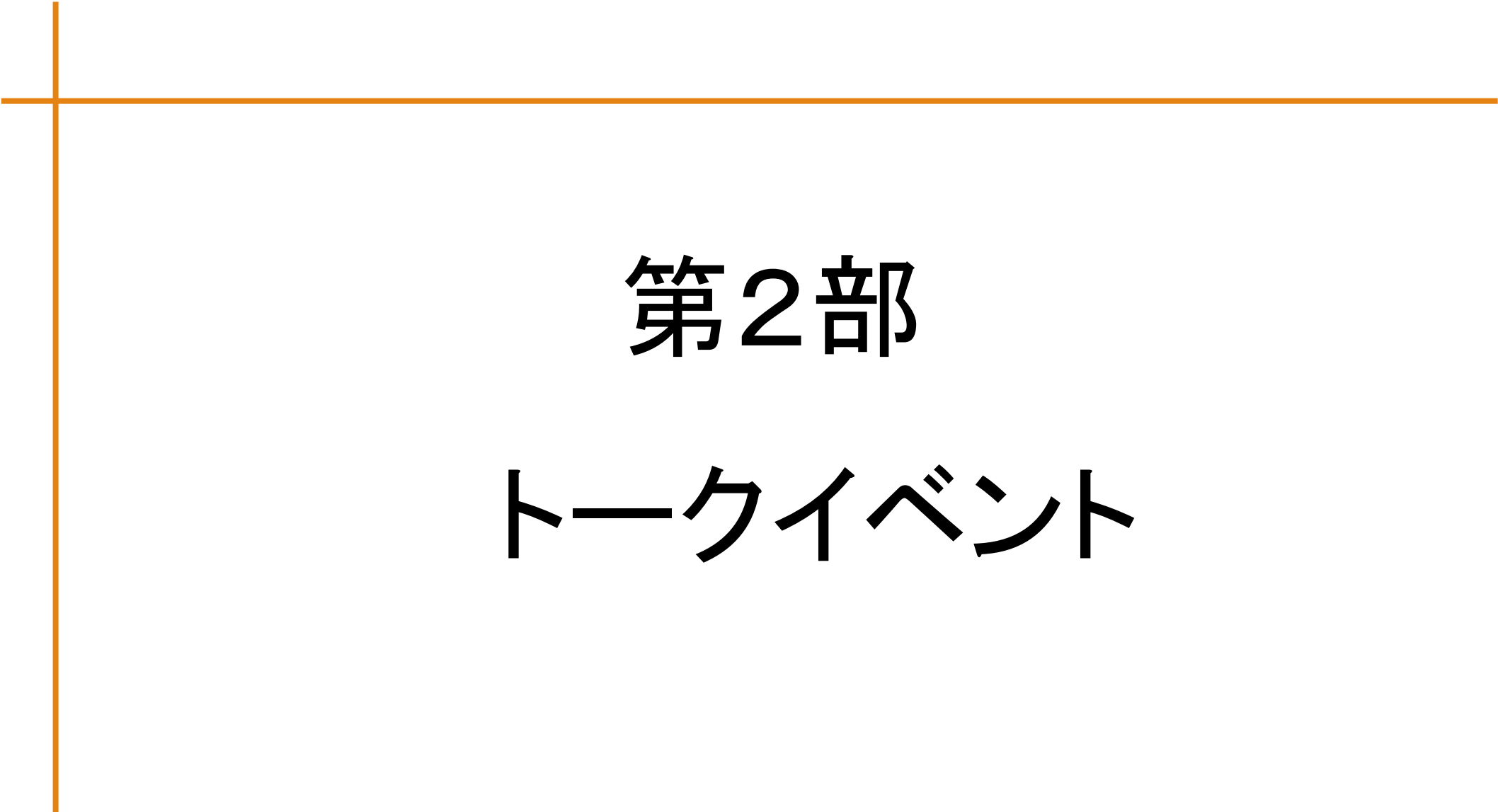
同じ悩みを持った者同士で共感し不安を解消したり、リフレッシュできる居場所づくりを目指している。毎回異なるテーマに沿った子育てサロンを開催することで、主婦友・ママ友作りをサポートするとともに、子育て情報なども提供している。LINE公式アカウントにて、参加者やボランティアスタッフの募集を行っている。



第1部 令和4年度事業実施報告

報告会の様子



An orange L-shaped line is positioned in the top-left corner of the slide. It consists of a vertical line segment and a horizontal line segment that meet at a right angle.

第2部

トークイベント

A solid orange horizontal bar spans the entire width of the slide at the bottom.

第2部 トークイベント

～大野城市の地域活動の今までとこれからを語り合う～

ファシリテーター：福岡市NPO・ボランティアセンターあすみん
センター長 中村善輝様

トークゲスト：◆有限会社クリーンみかさ
リサイクル事業部 部長 中村博志 様
収集運搬業務部 主任 本村龍一郎 様

◆認定NPO法人チャイルドケアセンター
代表理事 大谷清美 様

◆学生ボランティア団体Young Free Helper
井上 圭悟 様
堀之内 睦 様

◆大野城市役所職員
人事マネジメント課 人材育成担当係長
(前コミュニティ文化課 共働推進担当)
徳永 雄介 様



第2部 トークイベント

地域の課題やコミュニティの在り方が年々変化しつつある中で、今年度は地元企業・地域団体・学生ボランティア団体・行政に参加いただき、福岡市NPO・ボランティアセンターあすみんの中村氏をファシリテーターに迎え、地域活動についてのトークイベントを実施した。

“有限会社クリーンみかさ”は、企業として自分たちにできる地域貢献を行いたいとの思いから、回収したペットボトルキャップを絵本や花の苗に替えて、地元の幼稚園・保育園などに配付していることについてなどお話しいただいた。なお、今年度より各コミュニティセンターにも手作りのペットボトルキャップ回収箱を設置し、広く活動を周知している。

“認定NPO法人チャイルドケアセンター”は、子育て支援としてファミリー交流センターの管理・運営、受託事業としてファミリー・サポートセンターの運営のほか、みんなの居場所づくりなど「子どもを真ん中に、地域で育て、育ち合う」活動を幅広く実施している。トークイベントでは、市民グループとして活動をスタートしてから、時代のニーズを意識しながら様々なつながりを得て事業化を進めて来られたことや、子ども食堂で(有)クリーンみかさとの連携があったことにも触れた。

“Y F H”は学生版のボランティアセンターとして、小学生を対象にしたレクリエーションイベントを開催するなどしており、学生視点で自分たちがやりたいことを企画・実施していることについて話された。今後はどの様に活動の場を広げていくか、といった課題についてもお話しいただいた。

行政においては、地域の団体や企業が活躍されていることについて注目しているとのことだった。また、企業・市民団体・行政それぞれにできることがあり、役割分担をしながら地域課題に取り組んでいくことの必要性について話された。

トークイベントは終始和やかに進み、活発に意見交換が行われた。今後も各々がそれぞれのフィールドで活躍されることを期待するとともに、当法人も中間支援組織としてよりよいまちづくりに努めたい。



第2部 トークイベント

トークイベントの様子



制作物（団体紹介資料）

～心をひとつにきれいな街づくり～



ファンド
事業
3年目

活動のきっかけ

ONJO にやっとわーく

全国ニュースで、子ねこを adop トンポールに入れて遺棄する事件がありました。
大野城市でもニュースにならない事件が沢山あることに気づき、地域の為、ネコの為に、もやましい街にしたいと思いい活動を始めました。

活動内容

市内で遺棄・虐待を受けたねこを保護し、病院で検査・治療をした後、お母さんや里親の元へ送りだしています。
また、地域の環境保全のため清掃活動等も行います。
令和四年度は、三十匹の保護猫を里親のもとへ送り出しました。

Instagram

フェイスブック

団体からの一言

今後も継続的に活動を行います。
沢山のねこを助けていきたいと思っています。



～子どもたちの『夢』への架け橋になるように～



ファンド
事業
2年目

活動のきっかけ

スペースドリーム大野城

最近のことでは、大きな夢を語らない・表明しない子が多く、小学生の時に夢や希望を抱いていたとしても、成長とともに薄れていっているように感じた。大野城市の宝である子どもや若者に夢を持つことの大切さを素直に伝え、知ってほしいという思いで、当時活動していた小学校のおやじの会のメンバーで立ち上げたのが、『スペースドリーム大野城』。
『スペースドリーム大野城』は、活動を通じて子どもたちの心にひそむ好奇心・冒険心、匠心などの心の成長を育むことを目的としている。

活動内容

◇スクーリング「宇宙の学校」
年に3回、心のふるさと館やコミュニティセンターにて、宇宙を題材にした教材を使い、工作や実験など家庭ではできない体験ができるプログラムとなっている。
◇指導者セミナー
団体と一緒に活動してくれる人材を募集するなど、担い手の発掘や人材育成を行っている。

団体からの一言

子どもは無限の可能性を秘めた存在。夢を叶えたいという気持ち、夢への架け橋となる存在でありたいです。
今年度もスクーリングを開催する予定です。ぜひご参加ください。
活動情報はフェイスブックをフォローください。



【フェイスブック】

～心をひとつにきれいな街づくり～



ファンド
事業
1年目

活動のきっかけ

おおのじょうおとなりシップ

ある事がきっかけで、悩みを抱えて一人で苦しんでいる子どもがいることに気づきました。貧困や虐待などを背景に、孤立している子どもたちがいます。
そのような現状を少しでも良くするため、活動をはじめました。

活動内容

主な活動は子ども食堂、チャイルドケアセンターや企業の協力により、子ども食堂を開催。
その他に、子どもの居場所づくりイベントや、フードパントリーの開催。

団体からの一言

私たちが暮らす地域で縁あって出会った子どもたちを、温かく暖かい眼差しで見つめながら関わることを。おとなりシップ。という言葉にしました。子ども食堂や子ども向け企画をできる人が、できる時に、できることを、を企業に誰かが頼り頼られる地域を目指し活動しています。



制作物（団体紹介資料）

ファンド
事業
1年目

おやのかい MIRAI

活動のきっかけ

子どもが発達障がいを持っており育児の悩みを安心して相談できる場の必要性を感じたことから、発達障がいの子どもを持つ親同士が気持ちを理解し合える仲間と悩みを共有できたり、親として子供への対応の仕方を学べたりする場をつくりました。また、子ども自身の苦手を克服できるようにサポートを行い、子どもたちが地域で安心して過ごせるような環境もしています。

活動内容

- ◇みらいカフェ
発達障がいをもつ子供の親が集まり発達障がいの勉強をしたり、悩みを共有しています。
- ◇スクールサポートゆつくり
集団でのルールや人間関係づくりを、一対一で学習します。小集団で学ぶ事もあります。
- ◇すまいるFLOWER
不登校の親子集まりです。
- ◇夏休み学習サポート
- ◇親子交流会（夏・冬）
- ◇講演会
子育てに悩んでいる市民の方々に向けた講演会を開催。
- ◇地域イベントへの参加

団体からの一言

子育てに悩んでいる方、悩みを共有し、子育てスキルアップのためにMIRAIカフェに来てみませんか？ボランティアでお手伝いしただきる方も募集しています。

ファンド
事業
1年目

NPO法人
route
ルート

安全なまちへ。

活動のきっかけ

無免許運転による交通事故により親族がなくなったことがきっかけで、交通安全の啓発活動の取組みを始めた。活動によって、大野城市が安心、安全な街になることを目指しています。

NPO法人 route

活動内容

中央地区を中心に、通学路の危険箇所を見守りを行っています。また、区や地域団体、企業と連携しながら、安全啓発イベントの実施や地域イベントへの参加、講演会などを実施しています。団体の活動を周知し活動の輪を広げるとともに、地域住民の安全に対する意識の向上を図ります。

団体からの一言

私達は、大野城市で通学路の安全のために日々活動しています。子供たちが安心して歩ける街づくりを一緒に取り組んでくださる方を募集中です！

ファンド
事業
1年目

スマイルフレンズ

活動のきっかけ

高齢化やひとり親世帯の増加など、子育てにおいて困難を抱える方が地域で孤立し、支援を必要とする家庭が増えている。自身も引継いで来たときに子育てサロンはあったが、なかなかグループに溶け込むのが難しい状況であった。また高齢出産しており、若い世代のママばかりで高齢であるが故の悩みなどを相談できる友達を作れず、場所がなかった。自分が子育てなどで悩んでいたことを経験を活かし、同じ思いをされている方のために役立てたいとの思いから団体を立ち上げた。

活動内容

- ◇サロニイベント
毎月1つのテーマを掲げたイベントを開催し、親子がイベントを楽しむつつ子育ての悩みや不安を解消できる場を提供する。テーマ絞ることのできる話題ができ、参加しやすく、友達づくりのきっかけにもなる。
- ◇令和4年度開催したテーマ
・ニューフェイス主婦・ママ
（海外・市外から引っ越してきたものない主婦・ママ）
・新米アラフォーママ（初めての出産が40歳前後のママ）
・絵本大好き親子（年齢別にそったおすすめ絵本の紹介など）
・進級の悩み（入園・入学についての相談や不安を解消する）
・クリスマス会
など

団体からの一言

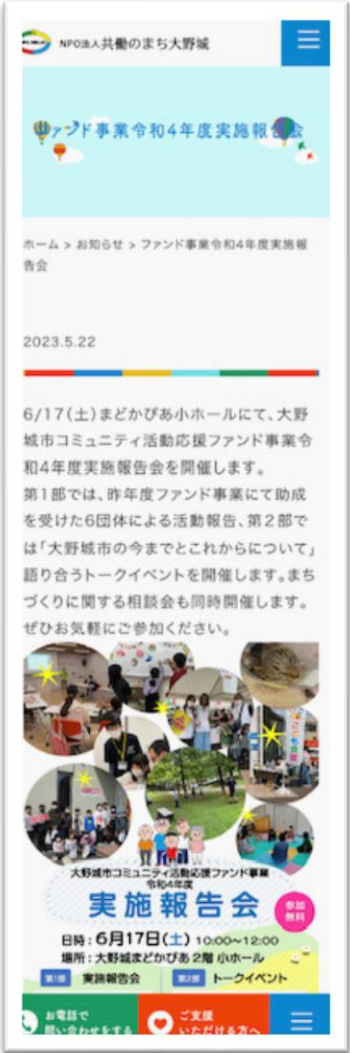
なかなか地域になじめない、知り合いがいなくて気軽に話せる友達がない！そんな主婦やママの助けになればという思いから始めた主婦・ママが主役のサロンです。まだまだ不慣れですが、参加する皆さんと一緒にさくばらんに話し合おうとアットホームなサロンにしていきたいと思っています。

ボランティア
～スタッフ募集中～

LINE
～イベント情報～

広報

- ◆館内掲示
- ◆大野城市内各公民館
- ◆大野城まどかぴあ
- ◆大野城心のふるさと館
- ◆コミュニティ通信
- ◆大野城市市報
- ◆西日本新聞me 福岡イベント情報
- ◆NPO法人共働のまち大野城 ホームページ
- Instagram
- facebook
- LINE



アンケート結果 アンケート回答者 45名（市内居住者31名/市外居住者12名/未記入2名）

・ 報告会を知ったきっかけ

項目	回答	令和4年度	令和3年度
1.前回の報告会	5	11%(+7%)	4%
2.コミュニティセンター館内	7	16%(-21%)	37%
3.HP・SNS	2	4%	
4.コミュニティ通信	4	9%(+2%)	7%
5.市広報	7	16%(+9%)	7%
6.その他	16	35%(-6%)	41%
0.未回答	4	9%(+5%)	4%

※ 6.その他：庁内の周知/PSセンターからの案内/報告団体の紹介/チラシ

・ 報告会の全体的な内容について

項目	回答	令和4年度	令和3年度
1.良かった	33	73%(+10%)	63%
2.やや良かった	7	16%(+1%)	15%
3.どちらでもない	2	4%(+4%)	0%
4.良くなかった	0	0%(±0%)	0%
0.未回答	3	7%(-15%)	22%

- ・ 各団体の熱意が伝わってくる報告会でした。
- ・ 活動の主旨がよくわかった、色んな形のボランティアがあるんだなと思った。
- ・ 地域課題を自分事として取り組んでいる人がたくさんいて元気をもらった。
- ・ 色んな団体の活動を知れてよかった、団体の方と直接交流ができる時間があると良かった。

昨年度と比べ来場者数が24名増え、アンケート回答者数も1.7倍となっている。特に今回は「一般参加者」の割合が最も多く、いくつかの周知方法で一定の効果が得られた。新たに「HP・SNS」の選択項目を加えたが回答数が少なかったため、インスタなどを上手く活用し広報を行っていききたい。報告会の内容に関しては、9割の方から「2.やや良かった」以上の回答をいただいた。昨年度に比べ来場者が増えたが「1.良かった」の割合は10%も増え、多くの方に満足いただけた。また「団体の方と直接交流できる時間が欲しかった」など、団体に興味を持ってくれた方も多くいたため、NPOとして中間支援できるよう今後の内容を検討していききたい。

アンケート結果

・コミュニティ活動応援ファンド事業の制度について

項目	回答	令和4年度	令和3年度
1.知っていた	35	78% (-15%)	93%
2.知らなかった	9	20% (+13%)	7%
0.未回答	1	2%	

・「知っていた」と回答した方へ どのようにして知りましたか

項目	回答	令和4年度	令和3年度
1.報告会	6	13% (+2%)	11%
2.コミュニティセンター館内	12	27% (-17%)	44%
3.コミュニティ通信	3	7% (+3%)	4%
4.市広報	5	11% (-8%)	19%
5.その他	13	29% (+7%)	22%
0.未回答	6	13% (+13%)	0%

※「5. その他」：知人から/PSセンター職員から
/SNS/以前助成を受けた

・コミュニティ活動応援ファンド事業を活用したいか

項目	回答	令和4年度	令和3年度
1.ぜひ活用したい	11	25% (+7%)	18%
2.機会があれば活用したい	11	25%	
3.どちらでもない	6	13% (-38%)	51%
4.あまり活用したいと思わない	2	4% (+4%)	0%
0.未回答	15	33% (+4%)	29%

- ・活動スタートまで資金を整えるのが大変なので、素晴らしい事業だと思う。
- ・何か役に立ちたいという人や団体が活動するきっかけになる支援だと思う。
- ・やりたい活動がある方に、アドバイスとして教えてあげたい。

昨年度に比べファンド事業の制度を「知らなかった」と回答した人が13%増え、「活用したいか」の問いに対しては半数の方から「2.機会があれば活用したい」以上の回答をいただいた。今回のように「まだ事業を知らない人」に来ていただけるよう広報を行っていくとともに、報告会を通して助成団体だけではなくファンド事業そのものに魅力を感じていただくことが出来れば、新たな団体の申請にもつなげられるため、事業の見直しなどを行い、より魅力のある事業にしていきたい。

アンケート結果

・トークイベントの内容について

項目	回答	割合
1.非常に良かった	27	60%
2.良かった	6	13%
3.どちらでもない	1	2%
4.良くなかった	0	0%
0.未回答	11	25%

- ・若い方が色んな分野で活動されているのがわかりました。
- ・様々な主体の想いを細かく聞けて、自分にもできることを考えるきっかけになった。
- ・新鮮で話の内容も面白かった。色々な立場の人達の話も聞けて、1人1人の思いがきちんと伝わった。

新たな試みとして行ったトークイベントだったが、「2.良かった」以上の回答が約7割を占め大変好評だった。特に「様々な立場での意見を聞いたことが良かった」「若い方の意見が聞けたのが良かった」などの回答が多く、地域課題の多様化や担い手の問題などをトークイベントから感じた。また、イベント後に団体同士が交流を取っている様子があり、NPOとして中間支援や地域活動の活性化に繋げることができたと感じている。次回も団体や来場者に満足いただける内容を考えていきたい。

【心をひとつにきれいなまちづくり】 "ONOJOにゃっとわーく"について

項目	回答	割合
1.良くわかった	33	73%
2.ややわかった	8	18%
3.どちらでもない	1	2%
4.わからなかった	0	0%
0.未回答	3	7%

- ・猫の虐待が大野城市でも問題になっていると知りませんでした。チャリティイベントや仲間集め頑張ってください。
- ・猫はたくさんいると思うのですが、少しでもたくさんの猫を救いたいとの気持ちが伝わってきて、これからも頑張りたいと思います。もっと市民に広めていって欲しいです。
- ・命を救う活動は素晴らしいと思います、これからも頑張ってください。
- ・動物の虐待について深く考えたことがなかったので、貴重な機会となった。

アンケート結果

【宇宙の学校®～つなぐ、子どもの夢と未来を～】
“スペースドリーム大野城”について

項目	回答	割合
1.良くわかった	17	38%
2.ややわかった	17	38%
3.どちらでもない	9	20%
4.わからなかった	1	2%
0.未回答	1	2%

- ・子供たちの興味をひくテーマだと思いました。
- ・コミュニケーションが苦手な子どもが増えている中、夢を持って成長させていくことは大切だと思いました。
- ・宇宙=夢とグローバルな視点に驚きました、どの地区でも活動をしていって欲しいです。
- ・子どもの将来をどうつくっていくか、本当に重要なテーマだと思いました。
- ・スクーリングの具体的な内容がもう少しわかるとよりイメージがふくらむと思いました。

【おおのじょう まどかの醸成事業】
“おおのじょう おとなりシップ”について

項目	回答	割合
1.良くわかった	29	64%
2.ややわかった	12	27%
3.どちらでもない	1	2%
4.わからなかった	0	0%
0.未回答	3	7%

- ・活動の目的や背景、活動して得たことなど、とても良く理解できました。私も子育て世代の多い地域なので、とても共感するとともに参考になりました。
- ・こどものためにできることを考え、たくさん取り組みをされていて、とても感動しました。専門家ではなく一般市民にもできることがたくさんあると勉強になりました。頼ることのできる大人がいる環境が、大野城に広がってほしいです。
- ・私自身も子育てをするうえで、こういった活動が身の回りであればよいなと思いました。
- ・困っている子ども向けの事業は必要とされていると思いますし、楽しそうなイベントが魅力的だと思いました。

アンケート結果

【子育てで少し悩まれている保護者のサポート事業】 “おやのかいMIRAI”について

項目	回答	割合
1.良くわかった	31	69%
2.ややわかった	11	25%
3.どちらでもない	1	2%
4.わからなかった	0	0%
0.未回答	2	4%

- ・発達障害の子が地域で伸び伸びと成長できるよう、発達障害を特性として受け入れられることにつながる活動だと思いました。
- ・活動内容がわかりやすかった、様々なイベントや他団体との連携により、活動への理解者や支援者を増やそうとされていて、とても素晴らしいと思いました。
- ・立花高校の校長先生の講話会を開催された時に、大々的な告知は行わなかったが、たくさんの方が来られたとのことで、関わっている人や興味がある人が多いことを改めて知ることができた。
- ・社会から取り残されやすい方々へのサポートとても大事だと思いました。同じ目的で活動されている団体さんもあると思うので、うまく連携していけるといいですね。
- ・子ども達や親御さんにとって、素敵な居場所になっていると感じた。様々なイベントや活動を通して、各家庭にどのような影響があったのか知りたいです。

【安全なまち大野城】 “NPO法人route”について

項目	回答	割合
1.良くわかった	32	71%
2.ややわかった	9	20%
3.どちらでもない	1	2%
4.わからなかった	0	0%
0.未回答	3	7%

- ・素晴らしい活動だと思いました。見守りだけでなく、地域や学校と連携し“子どもの交通安全講習”などしてみると良いかもと思いました。
- ・実体験に基づいた活動で熱意がとても伝わった。市内にも危険箇所がたくさんあり、改善にはとても労力がかかると思いますが、今後も頑張ってください。
- ・子どもたちは大人が作った交通ルールを守っても、ルールを守らない大人によって子どもの命が脅かされる、私も親なので皆さんの活動に共感しました。
- ・子どもの命を守るとても重要な活動だと思います。近年自動車による事故も増えているので、子どもから大人まで参加できる交通安全教室は参加したいと思いました。

アンケート結果

【ママ友サポート&子育て応援事業】 "スマイルフレンズ"について

項目	回答	割合
1.良くわかった	28	63%
2.ややわかった	13	29%
3.どちらでもない	2	4%
4.わからなかった	0	0%
0.未回答	2	4%

- ・異動人口の多い大野城市ですので、出産・子育てに同じような不安を持っている人はたくさんいると思います。そんな人たちの支えになる活動だと思います。
- ・子育てをしているお母さんにスポットをあてた事業は、これまでなかった気がするので、素敵な団体さんが生まれたなと思いました。
- ・私も移住者なのでとても気持ちがわかります。このサロンを通じて、他の団体の活動への導線が生まれそうですので、色々コラボが進むといいですね。
- ・他の団体とのコラボにより、テーマが広がったことがすごい良いなと思いました。
- ・なかなか地域になじめない仲間が広がって、いろんな活動で気持ちが豊かになることで子育てのストレスが解消されるのは良いことと思うので、広報活動を続けて仲間が増えるといいと思う。それと同時に地域内にも仲間が増えると、子ども達の成長と共に地域で子育てサポートができるのも良いと思いました。

全ての団体で「1.わかった」「2.ややわかった」の回答が約8割を占める結果となった。団体の報告内容に対しても、「頑張ってください」などの応援の声や「同じ経験をしたので気持ちがわかります」といった共感の声が多くあり、大変好評いただけた。今回は「団体概要」「活動実績」「今後の展望」の構成で発表データを作成していただくよう事前に依頼をしていたため、テーマの違いはあるものの団体の報告内容に大きな差はなかったように感じた。結果的に第1部の時間が10分程余ったことや、来場者から「発表時間がもう少し長くても良かった」「もう少し詳しく聞きたかった」との声もいただいたため、報告時間に関しては改善が必要と思われる。反面、報告団体に興味を持っていただくことができたとも捉えられる。報告団体を通して、実際に活動報告を行い感じたことや改善点などの意見をいただくことで、次回の報告会に活かしていきたい。

統括・所感

コロナ禍が明けたことで、昨年度に引き続き対面での報告会開催となった。今回は昨年度の課題を踏まえ、会場を前回の「大野城心のふるさと館講座学習室」から「大野城まどかぴあ小ホール」に変更し、よりアットホームな雰囲気の中で報告会に集中できる会場づくりに取り組んだ。昨年度よりも大きなキャパシティでの開催となったが、参加者は前回の35名から59名と約1.7倍に増加し、中でも一般参加者数の割合が一番多かったことから、年々市民活動への関心が高まっていることがうかがえる。

第1部では、ファンド助成団体の報告会として、地域で活躍している6団体の声を直接参加者に届けられたことで、団体の日頃の活動や成果を多くの方に知っていただくことができた。

また、第2部では初めての取り組みとしてトークイベントを実施し、地元企業・地域団体・学生ボランティア・行政それぞれの立場から、大野城市の地域活動のこれまでとこれからの展望を語っていただく貴重な機会となった。

アンケート結果においては、「報告会の全体的な内容について」の項目で、「良かった」「やや良かった」の合計が前回の78%から89%に増加しており、多くの方に満足いただいた結果となっている。また、団体やトークゲストに対するねぎらいの言葉や、今後の活動に期待する声が多く寄せられており、市民活動団体に対しても高い評価をいただいた。さらに、この報告会がきっかけでボランティアに参加したいとの声をいただいたり、参加者から団体の取り組みについての問い合わせがあったりと、市民活動のきっかけづくりの場としての役割も生まれているといえる。

その一方で、報告会の時間配分の仕方や、予定より参加者が多かったことによる資料不足などいくつかの課題が残った。次年度は今回の反省を踏まえ、中間支援組織としてより有意義な報告会の開催を目指したい。



北パートナーシップ活動支援センター

〒816-0912

大野城市御笠川1丁目17番1号

T E L (092) 513-0099

F A X (092) 504-5102

E-mail : kitaps@onj.csf.ne.jp

北コミュニティ

上筒井区
下筒井区
山田区
雑餉隈町区
栄町区
仲島区
畑詰区



東コミュニティ

釜蓋区
井の口区
中区
乙金区
乙金台区
乙金東区
大池区



東パートナーシップ活動支援センター

〒816-0904

大野城市大池2丁目2番1号

T E L (092) 504-1428

F A X (092) 504-1595

E-mail : higaships@csf.ne.jp

南パートナーシップ活動支援センター

〒816-0964

大野城市南ヶ丘5丁目9番1号

T E L (092) 596-0686

F A X (092) 596-0348

E-mail : minami-ps@onj.csf.ne.jp



南コミュニティ

牛頸区
若草区
平野台区
月の浦区
南ヶ丘1区
南ヶ丘2区
つつじヶ丘区



中央コミュニティ

上大利区
中大利区
下大利区
東大利区
下大利団地区
白木原区
瓦田区

中央パートナーシップ活動支援センター

〒816-0942

大野城市中央1丁目5番1号

T E L (092) 573-3127

F A X (092) 587-6277

E-mail : chuouups@onj.csf.ne.jp